

一般財団法人 お酒の科学財団
2021 年度事業報告書
(2021 年 4 月 1 日～2021 年 6 月 30 日)

事業の概要

当財団はお酒と人、お酒と社会の良好な関係のあり方に寄与することを目的とし、お酒に関する科学研究に対する助成やお酒と人、お酒と社会の良好な関係のあり方に寄与する研究成果の普及活動を主な事業としている。

2021 年度の具体的な事業活動は以下のとおりである。

研究助成事業

2021 年度はお酒と人、お酒と社会の良好な関係のあり方に寄与する研究について 5 領域（臨床・精神医学領域、臨床・内科学領域、公衆衛生学領域、心理学領域、特定研究領域）に対して、下記の助成先に、1 件あたり、200 万円を支給し、助成を開始した。

2021 年度助成先一覧（助成期間 2021 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

研究領域	研究課題名	代表研究者
臨床 精神医学領域	アルコール依存症を対象としたアミロイド PET／拡散尖度画像 MRI 研究	国立精神・神経医療研究センター 医師／室長（併任） 沖田 恭治
臨床 内科学領域	アルコール関連肝疾患における脂質代謝変化と脂質メディエーターによる病態形成機序	順天堂大学医学部消化器内科 准教授 今 一義
公衆衛生学領域	地域住民における飲酒状況と家庭血圧の両変動およびその関連要因に関する研究	岡山大学大学院医歯薬学 総合研究科公衆衛生学分野 教授 神田 秀幸
心理学領域	ノンアルコールビールによる創造性向上効果の検討：古典的条件づけの視点から	北海道医療大学心理科学部 助教 福田 実奈
特定研究領域＊	ウェアラブル自律神経モニタによる酩酊状態アラート IoT システムの開発	熊本大学大学院先端科学研究部 准教授 山川 俊貴

＊2021 年度テーマ：IoT を活用したお酒の健康影響の評価

また、2022 年度からの研究助成に向けて、公募を開始した。

（＊参考：公募期間は 2021 年 5 月 10 日～7 月 30 日）

一般財団法人 お酒の科学財団
2021 年度事業報告書の附属明細書
(2021 年 4 月 1 日～2021 年 6 月 30 日)

事業報告の内容を補足するような重要な事項はありません。

公益財団法人 お酒の科学財団
2021 年度事業報告書
(2021 年 7 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

事業の概要

当財団はお酒と人、お酒と社会の良好な関係のあり方に寄与することを目的とし、お酒に関する科学研究に対する助成やお酒と人、お酒と社会の良好な関係のあり方に寄与する研究成果の普及活動を主な事業としている。

2021 年度の具体的な事業活動は以下のとおりである。

研究助成事業

2021 年度はお酒と人、お酒と社会の良好な関係のあり方に寄与する研究について 5 領域（臨床・精神医学領域、臨床・内科学領域、公衆衛生学領域、心理学領域、特定研究領域）に対して、下記の助成先に、1 件あたり、200 万円を支給し、助成を実施した。

2021 年度助成先一覧（助成期間 2021 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

研究領域	研究課題名	代表研究者
臨床 精神医学領域	アルコール依存症を対象としたアミロイド PET／拡散尖度画像 MRI 研究	国立精神・神経医療研究センター 医師／室長（併任） 沖田 恭治
臨床 内科学領域	アルコール関連肝疾患における脂質代謝変化と脂質メディエーターによる病態形成機序	順天堂大学医学部消化器内科 准教授 今 一義
公衆衛生学領域	地域住民における飲酒状況と家庭血圧の両変動およびその関連要因に関する研究	岡山大学大学院医歯薬学 総合研究科公衆衛生学分野 教授 神田 秀幸
心理学領域	ノンアルコールビールによる創造性向上効果の検討：古典的条件づけの視点から	北海道医療大学心理科学部 助教 福田 実奈
特定研究領域＊	ウェアラブル自律神経モニタによる酩酊状態アラート IoT システムの開発	熊本大学大学院先端科学研究部 准教授 山川 俊貴

＊2021 年度テーマ：IoT を活用したお酒の健康影響の評価

2022 年度からの研究助成に向けて、公募を行った（公募期間は 2021 年 5 月 10 日～7 月 30 日）。その後、各領域の選考委員会を経て、2022 年 3 月 17 日の理事会にて、各領域 1 件ずつ、計 5 件の助成先を決定した。

2022 年度助成先一覧（助成期間 2022 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）

研究領域	研究課題名	代表研究者
臨床 精神医学領域	非専門医によるアルコール依存症治療 方針策定に役立つ AI 問診票アルゴリズム開発	岡山県精神科医療センター 医師 宋 龍平
臨床 内科学領域	アルコール性肝疾患における肝臓と筋肉をつなぐ病態情報伝達体の役割	三重大学大学院医学系研究科 消化器内科 特任准教授 江口 暁子
公衆衛生学領域	妊娠中の母親の飲酒と子供の発達における遺伝子-環境交互作用の解明	山梨大学大学院総合研究部 社会医学講座 准教授 三宅 邦夫
心理学領域	お酒嗜好者における記憶想起の介入による飲酒行動の適切な制御と精神的健康への影響	大阪産業大学国際学部国際学科 准教授 山本 晃輔
特定研究領域 *	飲酒に関する心理的・行動的データのリアルタイム計測と飲酒予測モデルの開発	東京医科歯科大学 大学院保健衛生学研究科 准教授 高野 歩

* 2022 年度テーマ：ICT や AI を活用したお酒の健康影響の評価

2023 年度、2024 年度の助成先の選考に関わる選考委員を 2022 年 3 月 17 日の理事会で任命した。

＜選考委員＞（任期：2022 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）

臨床・精神医学領域：松下幸生、杠 岳文、廣中直行*

臨床・内科学領域：池嶋健一、正宗 淳、廣中直行*

公衆衛生学領域：岡村智教、松尾恵太郎、廣中直行*

心理学領域：青山謙二郎、横光健吾、廣中直行*

特定研究領域：岸本泰士郎、吉本潤一郎、廣中直行*

* 選考委員長

公益財団法人 お酒の科学財団
2021 年度事業報告書の附属明細書
(2021 年 7 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

事業報告の内容を補足するような重要な事項はありません。